



平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 N F K ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 城 寶 豊
(J A S D A Q ・ コード 6494)
問合せ先
役職・氏名 取締役 田中 耕
電話 045-575-8000

連結子会社である株式会社ファーンレストの株式の譲渡に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 3 月 27 日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社ファーンレストの株式の譲渡を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 株式の譲渡の理由

当社グループは、ホールディングカンパニー制として成長性のある企業を積極的に子会社することで、グループとしての成長を目指す方針のもと、株式会社ファーンレストにつきまして、平成 17 年 12 月 8 日に子会社化し、関連事業子会社として成長を期待してまいりました。

しかしながら、株式会社ファーンレストが昨年受注した加熱炉受注案件につきまして受注額 500 百万に対し施工管理上の不備等の原因により原価が 660 百万計上されることが確定したため、今期は債務超過になる見込みであります。

当社では、平成 19 年 8 月にグループの経営方針として、ファーンレスト事業を中核として戦略的に事業を絞り込み、財務的見地から今後の資金配分を中核事業に優先し、今後の資金投資先については、同方針に一致しない関係子会社については、原則譲渡・清算等とする方針で関係会社群の再編を行っております。その過程で、上記の財務的事情となった株式会社ファーンレストにつきましてはこれ以上グループ子会社としての資金的支援等は難しく、事業再編方針としても同じファーンレスト（工業炉）関連事業でありながら取扱い製品が全く異なり、今後の事業シナジーが極めて限定的であることなどからグループ内の資源配分の観点から見直しを行った結果、今般同社株式を譲渡することを決議しました。

2. 譲渡する子会社（株式会社ファーンレスト）の概要

(1)商 号	株式会社ファーンレスト
(2)代 表 者	磊 正雄
(3)本店所在地	大阪市福島区吉野一丁目 10 番 15 号
(4)設 立 年 月 日	平成 15 年 9 月 24 日
(5)主な事業内容	工業炉、熱交換器等の設計、製作、施工
(6)事業年度の末日	3 月 31 日

- (7)従業員数 5名
(8)主な事業所 本店以外なし
(9)資本金の額 54百万円
(10)発行済株式総数 2,080株
(11)大株主構成および所有割合 (株)NFKホールディングス(96.2%)
(12)最近事業年度における業績の動向

	平成18年3月期 (6ヶ月)	平成19年3月期 (12ヶ月)	平成20年3月期 中間期
売上高	36百万円	312百万円	422百万円
売上総利益	3百万円	62百万円	38百万円
営業利益	25百万円	7百万円	0.8百万円
経常利益	26百万円	5百万円	1.4百万円
当期利益	26百万円	4百万円	1.6百万円
総資産	56百万円	266百万円	541百万円
純資産	18百万円	36百万円	34百万円
資本金の額	29百万円	54百万円	54百万円
1株当たり配当金	0円0銭	0円0銭	0円0銭

3. 株式の譲渡先

- (1)氏名 轟 正雄
(2)住所 兵庫県篠山市野中 419 - 7
(3)当社との関係 株式会社ファーネスト代表取締役

【譲渡先選定の理由】

株式譲渡を経営陣と協議する中で、前記1譲渡の理由に記載のとおり株式会社ファーネストは債務超過状態であり、当社から株式譲渡後、第三者の出資先を捜し再建を目指すのか、あるいは清算手続きするのか、いずれにしても、代表取締役である轟 正雄氏が、株式会社ファーネストの今後の方針決定等に最適任であり、本人の同意もあることから、譲渡先として選定いたしました。

4. 譲渡株式数、譲渡価額および譲渡前後の所有株式の状況

- (1)異動前の所有株式数 2,000株(所有割合 96.2%) (議決権の数 2,000個)
(2)譲渡株式数 2,000株(譲渡価額 1円) (議決権の数 2,000個)
(3)異動後の所有株式数 0株(所有割合 0%) (議決権の数 0個)

【株式取得時からの経緯】

平成17年12月9日1,000株を取得後、平成18年9月29日第三者割当増資引き受けにより1,000株を追加取得しております

【譲渡価額算定根拠】

今期受注した加熱炉の受注工事の大幅赤字により、平成20年2月までの損益状況は当期純利益208百万円の大幅な赤字となり、金融機関からの短期借入金につき弁済日(平成20年2月末日)に弁済を行えない状況にあります。

実態ベースの純資産は190百万円ほどの見込みであり、将来的な収益力の向上の可能性を認める

べき事実も生じていないため、株式評価はゼロと考えられます。(以上、資産査定を依頼した「企業財務コンサルタント株式会社」による株式算定評価によります)

5. 日程(予定)

平成 20 年 3 月 27 日	当社取締役会決議
平成 20 年 3 月 28 日	株式売買契約書調印
平成 20 年 3 月 31 日	株式譲渡日

6. 今後の見通し

株式会社ファーネスト株式譲渡に伴い、株式売却損 100 百万円を特別損失として計上します。
(詳細は、本日別途開示いたします、「特別損失の発生及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい)

来期については、株式会社ファーネスト(今期連結に占める売上見通し約 6 億:約 6%)が連結対象外となるため、相当額が減少しますが、上記 1 にも記載したとおり、赤字会社に対する資金補填がなくなるため、今後ファーネス事業を中核とした事業に対し優先して資金を投入し安定した企業成長が可能となります。

また、株式会社ファーネストが連結から外れることにより、総資産は 540 百万円程度減少する見込みですが、有利子負債も 190 百万円程度減少する見込みです。株式会社ファーネストの純資産は債務超過なので、株式を 1 円で譲渡しても連結純資産には影響を及ぼしません。

以 上